

次世代シーケンサーを用いた感染症の診断方法 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年12月3日～2023年3月31日

〔研究課題〕 次世代シーケンサーを用いた感染症診断システムの確立

〔研究目的〕

感染症の疑いで受診された方の原因菌特定のため、次世代シーケンサーを用いて、迅速かつ網羅的に病原体を検出するシステムの確立を目的とします。

〔研究意義〕

感染症の疑いで受診されても、原因菌特定までに時間がかかり、重症化やアウトブレイクを招く可能性があります。この診断法が確立すれば、原因菌を迅速に検出し、速やかに治療を開始できると共に、感染の広がりを防ぐことが可能になります。

〔対象・研究方法〕

感染症の疑いで小児科を受診した小児（0～15歳）で、鼻腔または咽頭拭い液による迅速診断キットを実施した方の残液を使います。残液からDNA/RNAの抽出を行い、次世代シーケンサーを実施します。その解析結果と臨床情報（迅速診断キットの結果や既往歴など）を照らし合わせ、感染症の原因菌の特定を試みます。

〔研究機関名〕 帝京大学アジア国際感染症制御研究所、帝京大学医学部附属病院小児科

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報の取り扱いでは、試料（迅速診断検査の残液）を匿名化するため、個人が特定されることはありません。研究成果は、学会発表、論文発表を行います。この際にもデータを匿名化し、個人が特定されることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： アジア国際感染症制御研究所 准教授 鈴木章一

情報管理責任者： 医学部附属病院 小児科 主任教授 三牧正和

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03 - 3964 - 1211 （代表）〔内線 41924 〕